

津山地域

実施日 平成21年10月9日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 県道荒谷原崎線が開通し、国道48号と結ばれ、交通安全協会の交通量調査では、午前7時前後の通学時間帯に1時間で約600台の車が通過しているようです。</p> <p>貫津橋は大型車が通ると歩道の幅が狭いため子どもたちには危険であり、冬期間になると凍結して滑るため通ることができません。貫津橋の早期整備をお願いします。</p> <p>地区内の貫津川、古瀬川、藤田川には土砂が堆積しており、大雨が降れば洪水の心配がありますので、除去していただくようお願いいたします。</p> <p>また、教育センター西側のヨシ刈りなどの河川整備を県へ要望してくださるようお願いいたします。</p>	<p>建設課</p>	<p>貫津橋の歩道整備については、平成21年7月に県村山総合支庁の担当課から現地調査を実施していただきました。平成22年度に調査設計を行い、平成23年度に整備を行う予定になっています。</p> <p>なお、貫津橋前後については、交通安全の観点から、減速を促すためのライン引きを村山総合支庁より実施していただきました。</p> <p>河川の土砂とヨシについては、平成19年度も要望が出されましたが、平成21年度は、県で整備を行わなかったようです。河川管理者である山形県へ要望を続けていきます。</p>
<p>② 県道荒谷原崎線が開通しましたが、国道48号との交差点が危険なので、JAフルーツセンター西側に抜ける道路の整備をお願いします。将来は東根まで伸びるような計画だと思いますが、当面はフルーツセンターまでの道路の早期実現をお願いします。</p>	<p>生活環境課 建設課</p>	<p>国道48号との交差点には11月に信号機が設置されました。</p> <p>県道荒谷原崎線の前崎地内の早期着工と整備促進については、継続して県に要望していきます。</p>
<p>③ 関の上橋は調査点検の結果、危険であるとのことで、車両通行止めになっています。利用度の高い橋なので永久橋に架</p>	<p>農林課</p>	<p>木橋である関の上橋は、7月に調査点検を実施したところ、腐れや白アリの被害が発生しているため、車両の通行は危険であると判断し、歩行者以外は通行止めの対応</p>

津山地域

実施日 平成21年10月9日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>け替えるか、農耕車だけでも通れるように補修をお願いします。</p>		<p>を行っています。 現在の橋の修復だけでは車両の通行は、不可能であるため、平成22年度に架け替えを計画しております。</p>
<p>④ 古瀬川の河川敷で年2回春と秋に草刈りを行なっていますが、以前から要望している河川整備について、県に対して要望してください。</p>	建設課	<p>山元地区の古瀬川未改修箇所につきましては、平成18年度に同様の要望が出され、県に対して改修工事の要望を行った経過があります。村山総合支庁河川砂防課では、改修工事未着手になっている現場を改めて確認し、改修について検討することです。</p>
<p>⑤ 県道荒谷原崎線開通後、県道と久野本若松線の交差点で8月に交通事故があり、横断するのが危険なので信号機を設置してください。</p>	生活環境課	<p>信号機の設置については、県公安委員会の決定事項となっております。 このたびの信号設置の要望は、市からも天童警察署に意向を伝えます。また、地元町内会と地元安協支部が連携して、連名で天童警察署に要望書を提出すれば効果的と思われる。 なお、信号機の設置要望は、全県的に数多くの要望がありますので、県公安委員会では交通量の調査等を行って、交通量が多く危険な箇所から設置しています。</p>
<p>⑥ 天童市の市民一人当たりの負債額はいくらか教えてください。</p>	財政課	<p>一般会計における平成20年度末の市民一人あたりの地方債残高は、31万円と県内で最も低く、下水道特別会計や病院会計といった特別会計等を含めても68万7千円で他市に比べ低い額となっております。 今後とも、厳しい財政状況の中で地方債残高の一層の縮減に努めながら、将来世代への負担軽減を図っていきます。</p>
<p>⑦ 津山地区にある若松観音やじゃがらむら、紅花畑と、広域的に山寺や西沼田遺跡、舞鶴山、</p>	観光物産課 建設課	<p>津山地区は、天童温泉に隣接し、「若松観音」・「若松窯」・「格知学舎」・「ジャガラモガラ」・「じゃがらむら」・「紅花畑」・「芭</p>

津山地域

実施日 平成21年10月9日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>天童高原などの自然と名所を活用した観光ルートを作ってください。</p> <p>また、若松街道は行き止まりになっていますが、天童市の観光の売りものになるようなルートを作り、観光の振興を図ってください。</p>		<p>蕉句碑・「道の駅」・「わくわくランド」などが点在しており、本市の観光にとって重要な地域です。</p> <p>特に、スーパー農道の全面供用により、国道48号から山寺までは、主要な観光施設と観光果樹園を楽しめる交流ルート、「おくのほそ道フルーツライン」と位置づけて、仙台圏からの誘客を図っています。</p> <p>山寺には、土日と祝日に天童駅から市内主要観光施設を經由して巡回する「観光駅馬車」の運行や、天童温泉宿泊客を500円で山寺や若松寺に送迎する「ワンコインタクシー」、四季折々の山寺の魅力を紹介する「山寺ライトアップ」ツアーなどの連携を行っています。</p> <p>その他にも、雄大な自然の素晴らしさが四季を問わず楽しめる天童高原、古墳時代後期の天童の集落跡として復元された西沼田遺跡公園、天童古城跡などをはじめ、天童織田藩関係の史跡が周辺に点在する舞鶴山等の歴史的観光拠点を活用して、観光の振興に努めています。</p> <p>ご提案のとおり、これらの観光資源を有効に活用し、更に観光誘客を図りたいと考えています。</p>
<p>⑧ 津山の婦人会は7町内会中3町内会だけが津山地区婦人会として活動しています。交通安全母の会や婦人防災会の活動もあり、各町内で婦人の力が必要だと思えます。婦人会や若妻会に入ると、連合婦人会の活動や役割が大変で辞めていくようです。生涯学習や社会教育の市の</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>各地域において、婦人会や青壮年会等の社会教育団体が積極的に活動し、地域づくりの一翼を担っていただいていることに深く感謝申し上げます。</p> <p>現在、社会構造の急激な変化や、個人の意識の変化により、組織への加入離れが顕著化し、それに伴い既存団体の組織力の弱体化が進んでいます。</p> <p>既存の団体への参加や加入離れが進む</p>

津山地域

実施日 平成21年10月9日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>事業等があっても参加する人が減っていき、婦人が参加する場が先細りしていくことが懸念されます。市のバックアップも必要ですが、全市民が社会教育団体に何らかの形で参加しないと、組織が続いていかないと思います。</p>		<p>反面、子育てサークルやスポーツ少年団の保護者会等、新たな枠組みでのネットワークも形成されています。</p> <p>安全安心な地域を自らの手で作りあげるには、やはり組織や団体の力が必要です。このため、現在の社会情勢に合うように各団体の目的意識を明確化し、より参加しやすい、加入意義が高まるような検討が必要であると思います。</p> <p>行政においても、各団体と共に相談しながら、今後の各種団体の方向性について考えていきます。</p>
<p>⑨ 子どもの医療費が無料となりましたが、受診の際に医療機関では明細書がもらえず、実際の医療費がいくら分からないので、分かるようにしてください。</p>	健康課	<p>本市では、子育て家庭の医療費の負担軽減を図るため、平成21年7月から小学生の医療費無料化を実施しています。</p> <p>医療機関では、自己負担がある場合には領収書を発行し、全額無料の場合には発行しないのが現状ですが、医療機関に請求があれば、医療費明細書を発行します。</p>
<p>⑩ 津山小学校は今年創立135周年を迎えますが、児童数は年々減少しています。児童数増加の方策があれば教えてください。</p>	市長公室	<p>少子化に伴う地域コミュニティの弱体化は、津山地域に限った問題ではありません。少子化の進行に歯止めをかけるため、計画的な宅地整備や安定した雇用の確保などに取り組むとともに、仕事と育児の両立支援をはじめとした子どもを安心して生み、育てることができる環境づくりを進める必要があります。</p>
<p>⑪ 市の子育て支援は充実しておりますありがたいのですが、地区の青壮年会の中には多くの独身の会員がいます。津山には縁結びの若松寺もありますし、婚活の場として天童温泉もあります。NPO法人などに働きかけ</p>	市長公室	<p>以前は天童市結婚促進協議会が設立されておりましたが、個人情報保護法などにより解散した経過があります。</p> <p>出合いの場が少なくなりましたが、今年度から山形県婚活コーディネーターが設置され、様々な情報提供や保護者の婚活等も行われていますので、ご活用ください。</p>

津山地域

実施日 平成21年10月9日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>て津山や市全体で婚活支援の活動ができないでしょうか。</p>		
<p>⑫ 地区では青年団への入団者が減少しています。天童市全体では、青年団活動がどのように行われているのか教えてください。</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>青年団については青年の生活向上を目的に、特に戦後の荒廃した社会の中で自らの生活や地域の復興に資するために積極的に活動されてきました。</p> <p>現在青年団として組織されているのは、津山地区と荒谷地区だけになりましたが、多くの地域では青年団としての活動が地区の青壮年会の活動に移行してきたものと考えられます。</p> <p>今後とも地域を支える青年団、青壮年会の活動が活発に展開していけるよう支援していきたいと考えています。</p>
<p>⑬ 今年の春に上貫津の「じゃがらむら」の上に、野生のサルの群れが現れました。花火などで追い払ったところ、半日ほどでいなくなりましたが、サルが住み着く前の市の対策をお願いします。</p>	<p>農林課</p>	<p>サルの被害防止対策については、4月に田麦野地区で田麦野鳥獣害対策連絡協議会が、5月に天童市有害鳥獣対策協議会が設立されました。また、田麦野地区に南奥羽鳥獣広域対策協議会の事業で、サル接近警戒システムを設置しています。今後とも農作物を鳥獣被害から守る対策を実施してまいります。</p>
<p>⑭ 天童市内には大型電気店がなくなってしまい、車の運転ができない人にとっては、電球一つを買うにも不便になったようです。市内で大型電気店の出店計画はないのでしょうか。</p>	<p>商工振興課</p>	<p>商業施設の立地については、採算性が得られることが重要な要素となることから、経営者自らの判断により、新しい店舗づくりを行うべきと考えています。</p> <p>今後の民間の活力に期待しているところですが、天童商工会議所等に確認したところ、電気量販店の立地計画の動きは、今のところ無いとのことでした。</p>
<p>⑮ 農業は厳しい状況にあり、地域を守りながら農業をやっていきますが、市の支援が必要です。山のぶどう園が減ってきてお</p>	<p>農林課 農業委員会</p>	<p>市では、経営感覚に優れた担い手農業者の育成や、農地流動化促進などの目標を明確にし、職業として選択し得る魅力とやりがいのある農業の実現を目指しています。</p>

津山地域

実施日 平成21年10月9日

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
り、土砂崩れの可能性もあります。農地を守ることにについて、みんなで最大限考えてほしいと思います。		<p>農業就業者の高齢化等に伴い、年々増加している農地の貸借については、大規模経営者と小規模な自給的農業者とが役割分担しながら、地域の農地の保全と地域農業の確立を図っていきたいと考えています。</p> <p>農地を守ることにについても、平成22年3月現在、266ある認定経営体をさらに増加できるよう、担い手農業者への育成を図るとともに、農地の集積を図りながら農地流動化を促進していきます。</p> <p>農業委員会では毎年、遊休農地（耕作放棄地）の実態調査を実施しています。主に平地の農地を対象としていますが、今年度から新たに構造改善事業で造成したぶどう園等の山際の農地についても調査を拡大しています。この調査により、将来農地として活用できるか否かを判断し、活用できる農地については積極的に有効利用を図っていきたいと考えています。</p>